

香川県地震・津波被害想定結果一覧表

・南海トラフ(最大クラス)の地震・津波による被害一覧(香川県全体)

項目	条件・定義	単位	香川県発表	内閣府発表	(参考)香川県発表 ^{※1}	内閣府との違い	
			H25.8	H24.8.29/H25.3.18	H17.3		
1 建物被害(全壊)	1 揺れによる被害	棟	25,000	37,000	4,600	[建物母数の違い] ・県では、最新の家屋データを使用し、倉庫など20m2未満の建物を除く。① [津波] ・県では、堤防が機能しない場合を想定し、浸水面積が増大。②	
	2 液状化による被害	棟	2,500	4,600	-		
	3 津波による被害	棟	2,000	800	-		
	4 急傾斜地崩壊による被害	棟	220	100	-		
	5 地震火災による被害	冬深夜	棟	1,400	1,800		-
		夏12時	棟	1,800	2,700		-
冬18時		棟	5,700	12,000	30		
合計 ^{※2}	冬18時	棟	35,000	55,000	4,600		
2 人的被害(死者数)	1 建物倒壊による被害 ^{※3}	冬深夜	人	1,600	2,300	・①と同じ ・時間別滞留人口の差異	
		夏12時	人	1,300	1,000		
		冬18時	人	1,200	1,700		
	屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害(建物倒壊による被害の内数)	冬深夜	人	140	100	・①と同じ ・時間別滞留人口の差異	
		夏12時	人	170	50		
		冬18時	人	140	80		
	2 津波による被害 ^{※4}	冬深夜	人	4,600	1,000	・②と同じ	
		夏12時	人	3,100	800		
		冬18時	人	3,400	800		
	3 急傾斜地崩壊による被害	冬深夜	人	*	20	-	
		夏12時	人	*	10		
		冬18時	人	*	20		
	4 火災による被害	冬深夜	人	40	70	・①と同じ ・時間別滞留人口の差異	
		夏12時	人	50	40		
		冬18時	人	120	200		
	5 ブロック塀・自動販売機・屋外落下物による被害	冬深夜	人	*	*	-	
		夏12時	人	*	10		
		冬18時	人	*	10		
合計 ^{※2}	冬深夜	人	6,200	3,500	190 ^{※6}		
2 人的被害(負傷者数)	1 建物倒壊による被害 ^{※3}	冬深夜	人	16,000	23,000	・①と同じ ・時間別滞留人口の差異	
		夏12時	人	11,000	17,000		
		冬18時	人	9,500	16,000		
	屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害(建物倒壊による被害の内数)	冬深夜	人	2,300	2,600	・①と同じ ・時間別滞留人口の差異	
		夏12時	人	3,000	2,000		
		冬18時	人	2,400	1,900		
	2 津波による被害 ^{※4}	冬深夜	人	3,100	200	・②と同じ	
		夏12時	人	1,500	200		
		冬18時	人	1,000	200		
	3 急傾斜地崩壊による被害	冬深夜	人	*	30	-	
		夏12時	人	*	10		
		冬18時	人	*	20		
	4 火災による被害	冬深夜	人	20	60	・①と同じ ・時間別滞留人口の差異	
		夏12時	人	20	90		
		冬18時	人	60	400		
	5 ブロック塀・自動販売機・屋外落下物による被害	冬深夜	人	*	10	-	
		夏12時	人	60	200		
		冬18時	人	160	300		
合計 ^{※2}	冬深夜	人	19,000	23,000	3,300 ^{※6}		
2 人的被害(自力脱出困難者・要救助者)	1 揺れによる建物被害に伴う要救助者(自力脱出困難者)	冬深夜	人	5,400	6,900	-	
		夏12時	人	4,400	3,800		
		冬18時	人	4,200	5,200		
	2 津波被害に伴う要救助者 ^{※4}	冬深夜	人	400	400	-	
		夏12時	人	400	400		
		冬18時	人	400	400		
3 ライフライン被害 ^{※2}	1 上水道	断水人口	人	763,000	740,000	-	
		断水率	%	78%	76%		
	2 下水道	支障人口	人	141,000	370,000	・県では、自家発電の効果を考慮。	
		支障率	%	28%	90%		
	3 電力	停電軒数	軒	587,000	480,000	・震度6以上の区域の増加。	
		停電率	%	99%	89%		
	4 通信(固定電話・携帯電話)	不通回線数	回線	190,000	220,000	・建物全壊数(火災)の差異。	
		不通回線率	%	78%	88%		
		携帯停波基地局率	%	70%	80%		
	5 都市ガス	供給停止戸数	戸数	58,000	54,000	-	
供給停止率		%	68%	89%			
4 交通施設被害	1 道路(緊急輸送道路)	被害箇所	箇所	690	790	-	
	2 鉄道	被害箇所	箇所	510	510		
	3 港湾(防災機能強化港)	港湾被害箇所	箇所	100	80		
5 生活への影響	1 避難者 ^{※5}	冬深夜(避難所)	人	119,000	100,000	・②と同じ	
		冬深夜(避難所外)	人	80,000	62,000		
		冬深夜 計	人	199,000	162,000		10,000
6 災害廃棄物	1 災害廃棄物等	災害廃棄物	トン	1,851,000	5,000,000	・①と同じ	
		津波堆積物	トン	2,473,000~3,956,000	800,000~2,000,000		・②と同じ
7 その他の被害(定量的手法)	1 エレベーターの停止	停止数	棟数	1,200	400	・内閣府は番の州地区のみを評価。	
		火災	箇所	*	-		
		流出	箇所	10	-		
2 危険物	破損等	箇所	110	20	-		
	冬深夜	百億円	330	-			
	夏12時	百億円	331				
8 直接経済被害額	1 直接経済被害額	冬深夜	百億円		330	・建物被害数等の差異。	
		夏12時	百億円	331			
		冬18時	百億円	340			

※1: 想定した地震は南海地震、津波は東南海・南海の2連動

※2: 最大の被害となる時間帯の合計

※3: 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害を含む

※4: 早期避難率低の場合の被害状況を記載

※5: 冬深夜の発災直後の被災状況

※6: 建物倒壊及び火災による被害

※7: 「-」はデータ無しまたは公表なし

※8: 「*」は少ないが被害がある